平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場会社名　株式会社 ヤオコー　　上場取引所　東
コード番号　8279　URL　http://www.yaoko-net.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 川野　清巳
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長　(氏名) 竹井　信治　TEL 049-246-7000

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	179,249	8.5	9,739	28.3	9,590	28.5	5,202	23.3
23年3月期第3四半期	165,219	5.8	7,590	4.3	7,464	4.0	4,221	2.0

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　5,266百万円　(23.9%)　23年3月期第3四半期　4,251百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	267.98	―
23年3月期第3四半期	217.41	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	99,062	44,710	44.9	2,288.44
23年3月期	91,307	40,615	44.2	2,079.54

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　44,430百万円　23年3月期　40,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	22.50	―	34.50	57.00
24年3月期	―	25.00	―		
24年3月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,500	6.5	10,500	9.3	10,200	8.3	5,700	10.7	293.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	20,006,861 株	23年3月期	20,006,861 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	591,822 株	23年3月期	591,742 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	19,415,047 株	23年3月期3Q	19,415,296 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・・・・・・・・・3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・3

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・6
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・・・・・・・・8

４．その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

代表取締役の異動（追加選定）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の我が国経済は、東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、各種の政策効果等もあって一部では緩やかな持ち直し傾向も見られましたが、同時に、欧州の政府債務危機などを背景とした海外経済の減速や歴史的円高・デフレの継続など景気の下振れリスクを抱えており、先行き予断を許さない厳しい状況が続いております。

小売業界におきましては、震災直後の緊急需要や節電対策関連商品の需要が沈静化する一方で、消費税増税議論や、所得・雇用情勢の悪化懸念などから個人消費は盛り上がりに欠けており、その結果、価格競争が激化するなど厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社は、第６次中期経営計画（以下「第６次中計」という。）の最終年度として、その基本経営戦略であります『豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケットの充実』と第２の創業・第２のステージに向けて各種施策を実施いたしました。

特に、震災後、早い段階で平時の提案型売場への回復に努めるとともに、生鮮強化やＥＤＬＰ（常時低価格販売）導入など価格対応に取り組みました。

また、経費削減につきましても、電力抑制対策による電気代の削減とともに、店舗作業の標準化や自動発注システムの一部導入など生産性向上に取り組みました。

店舗につきましては、４月に市川田尻店（千葉県市川市）、大宮盆栽町店（埼玉県さいたま市）、７月に船橋三山店（千葉県船橋市）、９月に立川若葉町店（東京都立川市）、市川中国分店（千葉県市川市）、10月に若葉駅西口店（埼玉県鶴ヶ島市）の６店舗を開設するとともに、既存店３店舗の改装を実施するなど営業の強化を図りました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における営業収益は179,249百万円（前年同期比8.5％増）、営業利益は9,739百万円（同28.3％増）、経常利益は9,590百万円（同28.5％増）、四半期純利益は5,202百万円（同23.3％増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7,755百万円増加し、99,062百万円となりました。これは主に、新規出店に係る投資により有形固定資産が増加したためです。

(負債)

当第３四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3,660百万円増加し、54,352百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、買掛金及び借入金が増加したためです。

(純資産)

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4,094百万円増加し、44,710百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

スーパーマーケット業界におきましては、海外景気の下振れ懸念や円高・株安の進行、デフレの影響や雇用情勢の悪化など景気がさらに下押しされるリスクがあるなか、引き続き激しい低価格競争を中心に厳しい経営環境が予想されますが、当社は第６次中計の基本経営戦略に基づいて、『豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケットの充実』に向けて努力してまいります。通期の業績予想につきましては、平成23年８月12日に公表した業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,833	5,409
売掛金	2,275	2,882
商品及び製品	4,076	5,289
原材料及び貯蔵品	140	200
繰延税金資産	1,227	615
その他	3,570	4,746
流動資産合計	17,124	19,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,294	22,024
土地	28,186	33,012
その他（純額）	7,043	7,607
有形固定資産合計	56,524	62,644
無形固定資産	1,376	1,390
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,392	1,210
差入保証金	12,352	12,101
その他	2,536	2,569
投資その他の資産合計	16,282	15,881
固定資産合計	74,183	79,916
資産合計	91,307	99,062

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,231	16,451
短期借入金	4,050	2,200
1年内返済予定の長期借入金	1,859	2,886
未払費用	5,063	4,863
未払法人税等	2,748	1,245
賞与引当金	1,839	974
商品券回収損引当金	20	21
資産除去債務	25	―
その他	2,274	2,691
流動負債合計	31,111	31,334
固定負債		
長期借入金	7,140	10,642
再評価に係る繰延税金負債	61	53
退職給付引当金	1,512	1,622
役員退職慰労引当金	291	303
資産除去債務	1,238	1,317
預り保証金	5,080	4,771
その他	4,255	4,305
固定負債合計	19,580	23,017
負債合計	50,691	54,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,199	4,199
資本剰余金	3,606	3,606
利益剰余金	38,929	42,977
自己株式	△1,384	△1,384
株主資本合計	45,352	49,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	25
土地再評価差額金	△5,002	△4,994
その他の包括利益累計額合計	△4,977	△4,969
少数株主持分	240	280
純資産合計	40,615	44,710
負債純資産合計	91,307	99,062

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
売上高	158,137	171,659
売上原価	112,800	122,175
売上総利益	45,337	49,483
営業収入	7,081	7,590
営業総利益	52,418	57,074
販売費及び一般管理費	44,828	47,335
営業利益	7,590	9,739
営業外収益		
受取利息	108	106
受取配当金	4	4
その他	41	43
営業外収益合計	153	154
営業外費用		
支払利息	258	285
その他	20	17
営業外費用合計	279	302
経常利益	7,464	9,590
特別利益		
固定資産売却益	439	－
賃貸借契約違約金収入	25	10
その他	10	－
特別利益合計	474	10
特別損失		
固定資産除却損	34	15
減損損失	17	－
賃貸借契約解約損	－	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	442	－
その他	0	5
特別損失合計	495	62
税金等調整前四半期純利益	7,444	9,538
法人税、住民税及び事業税	3,020	3,484
法人税等調整額	166	796
法人税等合計	3,186	4,280
少数株主損益調整前四半期純利益	4,257	5,258
少数株主利益	36	55
四半期純利益	4,221	5,202

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	4,257	5,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	0
土地再評価差額金	－	7
その他の包括利益合計	△5	8
四半期包括利益	4,251	5,266
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,215	5,210
少数株主に係る四半期包括利益	36	55

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．その他

代表取締役の異動（追加選定）（平成24年２月21日付）

新任代表取締役

代表取締役副社長　　川野　澄人　　（現　常務取締役経営改革推進本部副本部長
兼営業統括本部副本部長）